

2017年2月19日

武井 誠司

## 「主がともにおられる」 申命記20章1～4節

### 1. イスラエルの戦い（申命記20：1～4）

- ・ ヨルダン川を越え、神様の約束のカナンの地に入り、領土を得ていく。
  - ・ カナン・・・馬、戦車、屈強　イスラエル・・・貧弱、農民一揆程度
- しかし、

「馬や戦車やあなたよりも多い軍勢を見ても、彼らを恐れてはならない。」

（申命記：20：1）

### 2. カデシュバルネア

- ・ 当時から38年前、神様からカナンに上るように言われる。（申命記1：21） → 民は恐れ、つぶやき、絶望する。
- ・ カレブとヨシュア以外はカナンの地に入ることも見ることもできなくなる。

（申命記1：35）

※子どもはカナンの地に入ることを許される（申命記1：39）

### 3. 恐れに対する主の励まし、守り

「恐れてはならない」・・・出エジプト14：13-14、ヨシュア記1：9、  
Ⅱ歴20：17

- ・ 「恐れてはならない」に必ず「主がともにおられる」が付いてくる。
- ・ 自分の経験、牧師の召命（エレミヤ1：5-8）

### 4. インマヌエル

- ・ 主がともにおられる・・・全人類に向けた言葉、イエスキリストを表す！！
- ・ 神は我らとともにいる＝インマヌエル
- ・ 主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな（詩篇103：2）
- ・ 十字架の愛はどんな物からも引き離されない、恐れを締め出す。

（ローマ8：39、Iヨハネ4：18）

### グループディスカッション

1. どんな時にあなたは恐れを感じますか。
2. どんな時にあなたは主が共にいてくださることを感じますか。
3. 主があなたに良くしてくださったことを思い出して、何一つ忘れないようにしましょう。